

かつて里山では、人々の営みとともに、昆虫、生きもの・・・、そして、自然が共存していたのじゃ・・・。

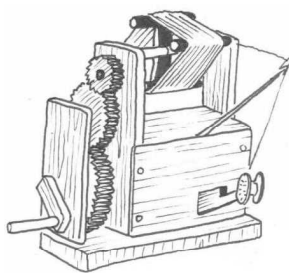
かやぶき民家 むかし たんけん 昔のくらし探検シート



★かやぶき民家^{みんか たんけん}を探検し、八つの問題^{もんだい ちようせん}に挑戦じゃ！

その六

この道具^{どうぐ}の
なまえ^{なまえ} しら
名前を調べ
るのじゃ！



その七

この道具^{どうぐ}を、
まわ
回してみるの
じゃ！



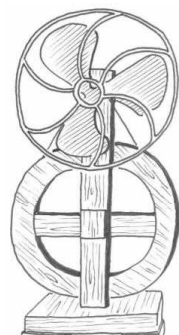
その八

この部屋^{へや}に
入って
みるのじゃ！



その五

この道具^{どうぐ}は、
どのように
つか
使っていたのか、
たしかめるのじゃ！

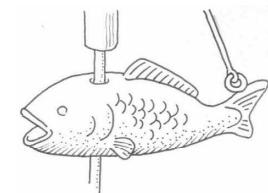


その四

昔^{むかし}の押し入れ^{おし入れ}に
はい
入り、戸をしめて
みるのじゃ！



その三



この道具^{どうぐ}の
なまえ^{なまえ} しら
名前を調べ
るのじゃ！

その二



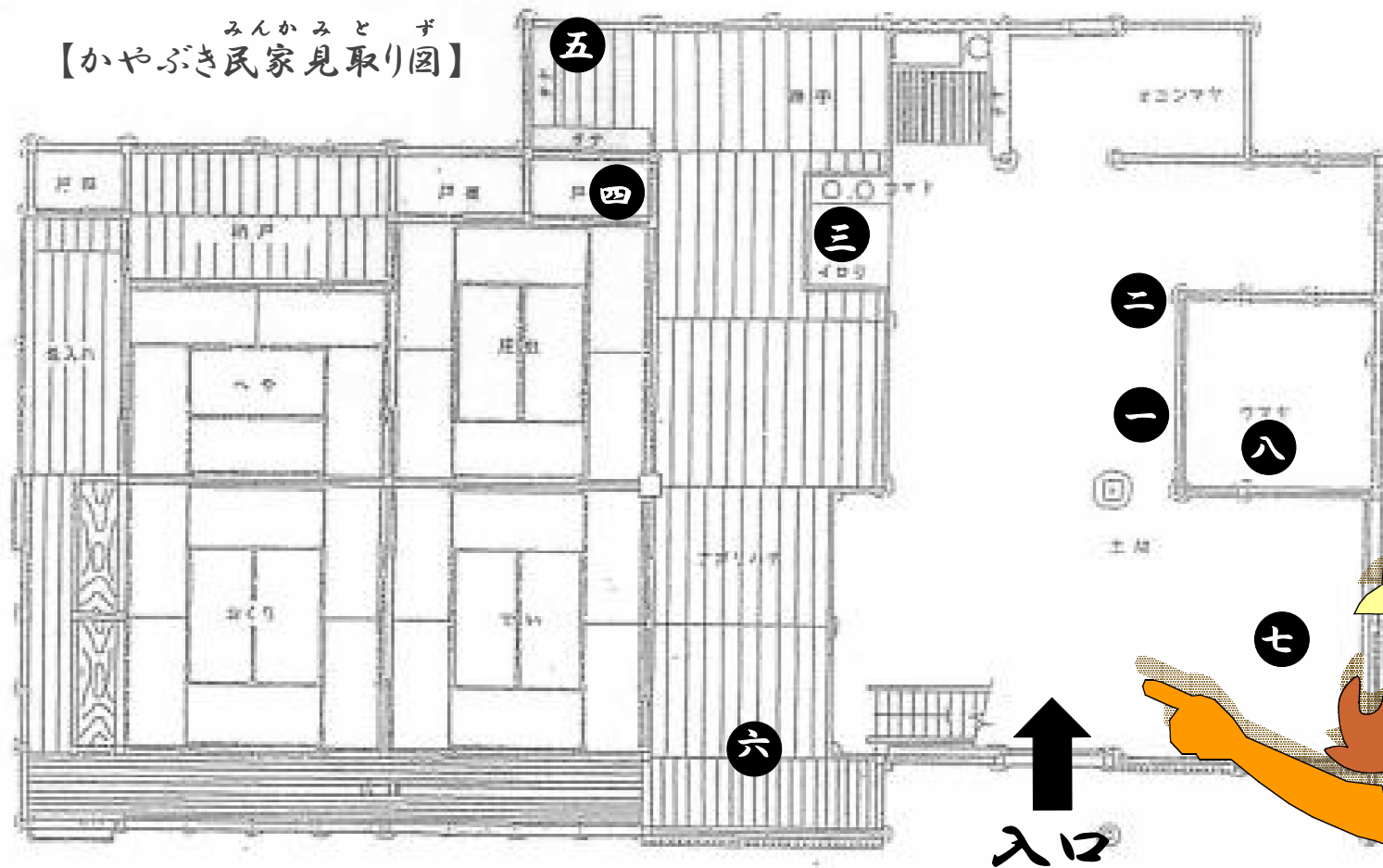
この道具^{どうぐ}を
き
着て
みるのじゃ！

その一

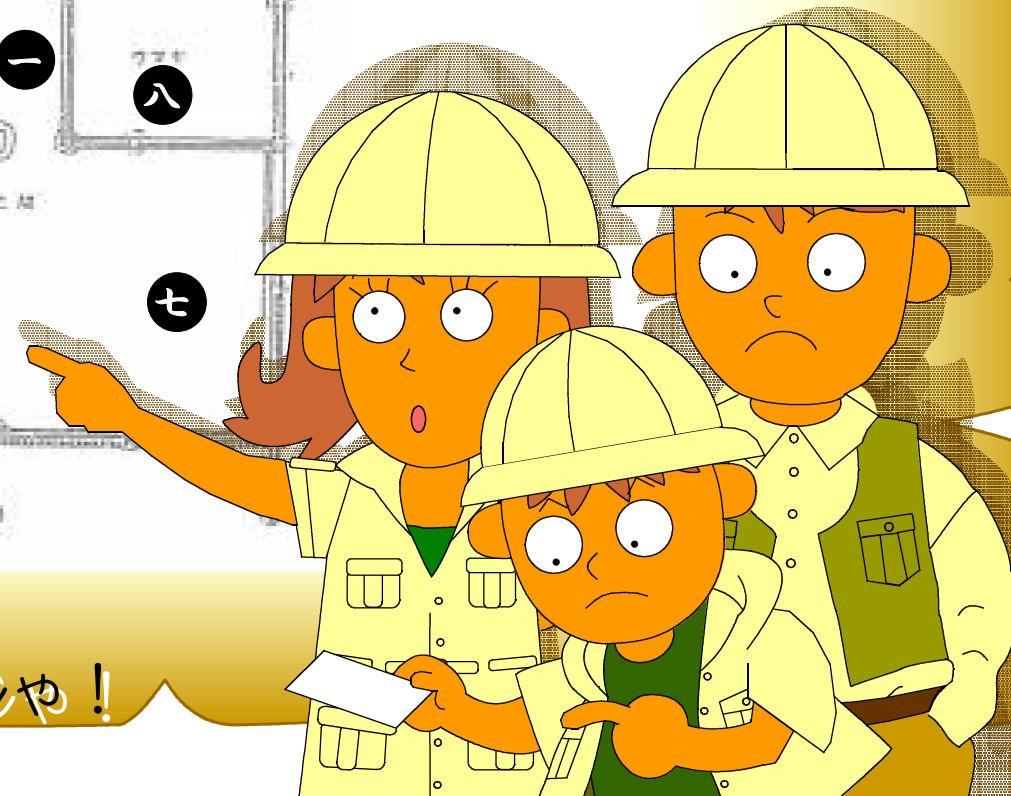


たわらを
も
持って
みるのじゃ！

【かやぶき民家見取り図】



★うらの「昔の道具クイズ」^{むかし どうぐ}にも挑戦じゃ！^{ちようせん}



「昔の道具クイズ」

★つぎの「昔の道具」は何でしょうか？ かやぶき民家の中からさがしてみよう。

い この中で、火をたきました。
みんなであたたまったり、料理をしたりし、家族
の団らんの場所でもありました。

ろ 今のガスコンロと同じように、火を使って調理
をする道具です。

は ご飯を炊く釜です。
木でできた重いふたがついているので、おいし
いご飯が炊けました。

に 今のストーブと同じで、中で炭を燃やしてあた
たまりました。おもちなども焼いたそうです。

ほ 一人分の食事をのせる台です。
畳や床の上で食事するときに使いました。

へ この棒で物のおもさを測りました。
支点のひも持ち、棒のはじめに物をつるし、もう片方
のはじでおもりを動かして、つり合うめもりを読み
ました。

と 炊きあがったご飯を、うつして入れておく器で
す。

ち 食器を入れて運ぶ箱です。

り 着るものをしまっておく箱です。

ぬ 計算するときに使いました。今のものは下の段
が四つの玉ですが、昔は五つでした。

る 衣服のしわをのばす道具です。
熱い炭を入れて使いました。

を 糸を織って、布を作る道具です。

わ 建物の中のもっとも重要な柱で、一番太い柱
です。
富をつかさどる神様「大黒様」から、呼び名がつ
いたという説があります。

か 土間の真ん中の柱です。
大黒柱に対して、このように呼ばれます。

み 洗うものに石けんをつけて、この板の上でゴシ
ゴシこすりながら、よごれを落としました。
たらいは、行水にも使ったそうです。

た 井戸からくんだ水を、これにためて使いました。

れ この棒を地面にたたきつけて、モグラを退治し
ました。

そ ハンドルをまわして、箱の中に風を送り、お米
や麦などにまじった「もみがら」などを飛ばし
てわかる道具です。

て カイコがこの中にまゆを作ります。カイコが上
にのぼると、カイコの重さで回転するので、
一部屋一部屋に、まゆを作らせることができます。

つ 馬が外に出ないようにする棒です。
昔の子どもは、これで鉄棒の練習をしたそう
です。

ね 馬のあしのつめを守るために、これをうちつけ
ました。

「昔の道具クイズの答え」

★かやぶき民家の中から、昔の道具をさがせましたか？ 答え合わせをしてみましょう。

い この中で、火をたきました。
みんなであたたまったり、料理をしたりし、家族
の団らんの場所でもありました。

いろり（囲炉裏）

ろ 今のガスコンロと同じように、火を使って調理
をする道具です。

かまど（竈）

は ご飯を炊く釜です。
木でできた重いふたがついているので、おいし
いご飯が炊けました。

はがま（羽釜）

に 今のストーブと同じで、中で炭を燃やしてあた
たまりました。おもちなども焼いたそうです。

ながひばち（長火鉢）

ほ 一人分の食事をのせる台です。
畳や床の上で食事するときに使いました。

ぜん（膳）

へ この棒で物のおもさを測りました。
支点のひも持ち、棒のはじめに物をつるし、もう片方
のはじでおもりを動かして、つり合うめもりを読み
ました。

さおばかり（竿秤）

と 炊きあがったご飯を、うつして入れておく器で
す。

おひつ（お櫃）

ち 食器を入れて運ぶ箱です。

おかもち（岡持ち）

り 着るものをしまっておく箱です。

こうり（行李）

ぬ 計算するときに使いました。今のものは下の段
が四つの玉ですが、昔は五つでした。

五つ玉そろばん

る 衣服のしわをのばす道具です。
熱い炭を入れて使いました。

炭火アイロン

を 糸を織って、布を作る道具です。

はたおりき（機織り機）

わ 建物の中のもっとも重要な柱で、一番太い柱
です。

富をつかさどる神様「大黒様」から、呼び名がつ
いたという説があります。

だいこくばしら（大黒柱）

か 土間の真ん中の柱です。
大黒柱に対して、このように呼ばれます。

しょうこくばしら（小黒柱）

み 洗うものに石けんをつけて、この板の上でゴシ
ゴシこすりながら、よごれを落としました。
たらいは、行水にも使ったそうです。

せんたく板 と たらい

た 井戸からくんだ水を、これにためて使いました。

みずがめ（水瓶）

れ この棒を地面にたたきつけて、モグラを退治し
ました。

わらでっぼう（藁鉄砲）

そ ハンドルをまわして、箱の中に風を送り、お米
や麦などにまじった「もみがら」などを飛ばし
てわける道具です。

とうみ（唐箕）

て カイコがこの中にまゆを作ります。カイコが上
にのぼると、カイコの重さで回転するので、
一部屋一部屋に、まゆを作らせることができま
す。

回転まぶし

つ 馬が外に出ないようにする棒です。
昔の子どもは、これで鉄棒の練習をしたそう
です。

ませんぼう（馬柵棒）

ね 馬のあしのつめを守るために、これをうちつけ
ました。

ていてつ（蹄鉄）